

相模原協同病院 外来診療担当表

令和5年5月1日

診療科	曜日	月 火 水 木 金 土					
		午前	午前	午前	午前	午前	午前
総合内科		(総合・二次健診)村田 東	廣瀬 憲一	(総合・二次健診)村田 東	富田 亮平	(総合・二次健診)村田東	交代制
		研修医	(特定検診)井関 治和 (消内)村田 東	研修医	研修医	研修医	(消内)高野 靖悟
代謝内分泌内科		林 寛仁	山口 真哉	山口 真哉	山口 真哉	林 寛仁	林 寛仁
		吉澤 智治	伊藤 大起	荒川 雄紀	干場 泰成	土居 祥子	遠藤 志央里
循環器内科		澤田 朋和	杉本 篤彦	加藤 善之	伊藤 大起	松浦 元	鈴木 研裕
		坂本 容規	河村 洋太	田宮 青滋		田中 航	(第1)伊藤 大起
呼吸器内科		眞邊 英明	山本 倫子	久保田 勝	眞邊 英明	赤澤 悠希	中野 真生人
					赤澤 悠希	中野 真生人	蛭田 ゆり野
消化器内科		川野 壽宙	井廻 佳菜	交代制	宮田 英治	眞部 優作	交代制
		小野寺 立	中畑 万里子	矢野 敏明	荒木 正雄	吉澤 奈津子	矢野 敏明
腎臓内科		鈴木 俊郎		柴原 宏	渋谷 陽平	窪田 彬	
				風呂 正輝		花澤 勇一郎	
血液内科		阪上 雅史		(予約のみ)阪上 雅史		阪上 雅史	
心臓外科			中島 光貴		村井 佑太		
血管外科				田村 幸穂			
呼吸器外科		鈴木 繁紀	紹介外来	松田 康平	紹介外来	坂巻 寛之	
脳卒中センター		(第1・3)丹羽 良子	池田 俊貴	柳川 太郎	休診	池田 俊貴	柳川 太郎
		植杉 剛	柴田 碧人	池田 峻介		柴田 碧人	池田 峻介
整形外科		荒武 正人	荒武 正人	吉成 広樹	荒武 正人	吉成 広樹	交代制
		藤井 淳平	藤井 淳平	山本 剛裕	轟木 絢貴	都竹 伸哉	
消化器外科		若林 正和	相崎 一雄	船津 健太郎	(未病外来兼)保刈 岳雄	相崎 一雄	船津 健太郎
		穂坂 美樹	木村 友洋	牛久 秀樹	堂本 佳典	加瀬 匠磨	木村 友洋
形成外科		新立 正貴	近江 将貴	松尾 聖哉	吉田 隼人	小澤 結花	
		一氏 俊世	交代制	一氏 俊世	一氏 俊世	(第1・3・5)高山 敦子	一氏 俊世
皮膚科		山田 直人		山田 直人	熊澤 憲一	山田 直人	山田 直人
		千葉 由幸		林 航	千葉 由幸	千葉 由幸	交代制
乳腺外科		林 航	小林 英資	福山 雅大	林 航		
		休診	(第1・3・5)松尾定憲 (第2・4)西宮洋史	榎本 克久	西宮 洋史	三階 貴史	休診
耳鼻咽喉科		猪 健志	交代制	交代制	猪 健志		猪 健志
		中川 都	交代制	交代制	村尾 秀彰	中川 都	村尾 秀彰
泌尿器科		堤 翔平		田村 昌也	藤川 直也	村尾 秀彰	(腫瘍:第2・4)堤 翔平
		黒坂 眞二	黒坂 眞二	山田 泰史	山田 泰史	(第2・4)設楽/山田	交代制
歯科口腔外科		櫻井 要	櫻井 要	櫻井 要	天野 統之	黒坂 眞二	交代制
		馬杉 亮彦	稲月 麻里子	中島 敏文	馬杉 亮彦	馬杉 亮彦	馬杉 亮彦
眼科		稲月 麻里子				稲月 麻里子	稲月 麻里子
		殿塚 夕起子	殿塚 夕起子	秋山 彩香	(第1・3・5)野口	秋山 彩香	交代制
産婦人科		秋山 彩香	野口 綾華		(第2・4)殿塚	野口 綾華	交代制
		綱脇 智法	水谷 美貴	梶田 賢司	水谷 美貴	山口 周利	交代制
小児科		2週間検診	杉 俊洸		2週間検診	2週間検診	
		小林 理	山口 周利	綱脇 智法	10:30~ 綱脇 智法	鎌田 早紀	
放射線治療科 完全予約制		鈮持 学	木村 純人	木村 純人	木村 純人	鈮持 学	(第1・2・4)木村
		紺野 寿	佐藤 裕子	横内 暁子	紺野 寿	藤本 まゆ	(第1・5)鈮持/(第2)横内
救急科		渡邊 萌	太田 まり	伊東 正剛		横内 暁子	(第1・2・5)紺野 (第4・5)藤本 内分泌外来(第2)橋田
		伊藤 有祐	加藤 眞吾	飯野 美咲	伊藤 有祐	青鹿 友美	交代制
	須藤 久男	須藤 久男	伊藤 有祐	須藤 久男	伊藤 有祐		

*第3土曜日は休診です。

休診等、多少変更が出る場合がございます。お問い合わせ下さい。

【受付時間 平日 8:00~11:30 土曜 8:00~11:00】但し異なる診療科がある為下記※参照下さい。

※整形外科と眼科の受付時間:紹介状持参でない方は8:00~10:00.紹介状持参の方は11:00迄です。

※形成外科の受付時間は8:00~10:00迄です。

※脳卒中センター(火・水・金・土)の受付時間は8:00~10:30迄です。ただし金曜日の神経内科は11:30迄です。

※歯科口腔外科、泌尿器科、呼吸器内科の受付時間は8:00~11:00迄です。

※循環器内科外来 木曜日 午後1:00~3:00で動脈硬化外来を行っています。

※膠原病内科外来 木曜日 午後の受付時間は1:00~3:00迄です。

※神経内科外来(脳卒中センター内) 火曜日午後の受付時間は2:00~4:00迄です。

※呼吸器外科の第1水曜日は予約患者のみの診療となります。午後の受付時間(月・水・金曜日のみ)1:00~3:00迄です。

神奈川県厚生農業協同組合連合会
相模原協同病院
〒252-5188
神奈川県相模原市緑区橋本台4-3-1
TEL:042-761-6020(代)

Vol.18
2023.5

~地域と病院を紡ぐ~ 連携広報誌

tsumugu



安心かつ正確な治療を提供—不整脈治療について—

心臓の脈拍が異常に速くなったり、遅くなったりする状態を指す不整脈。不整脈には様々な種類が存在し、自覚症状を伴わない不整脈もありますが、不整脈を生じると動悸、息切れなどの自覚症状の出現や、失神や心不全の合併、中には突然死に至るものもあります。生命に関わる事態を予防するためには、適切な診断、治療が必要です。

「tsumugu」について
アンケートにご協力ください。

JA神奈川県厚生連
相模原協同病院
SAGAMIHARA KYODO HOSPITAL

〒252-5188 相模原市緑区橋本台4-3-1
TEL. 042-761-6020 / FAX. 042-713-3525



デバイス治療

徐脈性不整脈

徐脈とは具体的には1分間あたり50回以下の脈(心拍数)が遅くなっている状態を指します。ふらつき、めまい、失神(一時的に意識が無くなる)といった有症状の患者さんに対してはペースメーカーという箱型の機械を皮下に埋め込み、静脈から心臓へリードと呼ばれる電線を挿入し、リードを機械と接続し電気刺激にて心拍数を維持する治療です。以前はペースメーカー留置後には核磁気共鳴装置(MRI)の撮像は不可能でしたが、現在、当院にて採用している機器は、ほぼMRI対応機種としており、待機的なMRI撮像は可能となっています。(撮像時にペースメーカーを特別な設定に変更する必要がありますが、緊急時にはMRI撮影は出来ません)ペースメーカーそのものの大きさも徐々に小さくなっており、メーカーや機種にもよりますが、現在は、縦約4-6cm、横約4-5cm程度です。当院では新規植え込み、電池交換を合わせて毎年100件程度のペースメーカー手術を行っており、8割以上は新規埋め込み手術になります。



また、当院では一部の適応となる方へはリードレスペースメーカーというカプセル型のペースメーカーの埋め込みも行っています。心房細動が続いている方や、一部透析中の方が適応となります。大きさは直径2cm程度であり、重さも1.75gと軽量化されていますが、電池寿命も一般のペースメーカーとほぼ変わりません。心臓へ直接埋め込むため、胸に傷が無く、感染の心配も少ないと言われています。当院では年間5-10件程度のリードレスペースメーカーの手術を行っています。

頻脈性不整脈

頻脈とは具体的には1分間あたり100回以上の脈(心拍数)が速くなっている状態を指します。突然死を来すような疾患に関しては埋込み型除細動器(ICD)というペースメーカーと似た形状の機械を皮下に埋め込み、不整脈の出現を365日24時間監視し、不整脈発生時には機械から速やかに電気刺激や電気ショックで停止させます。メーカーや機種にもよりますが、ICDの大きさは縦約7.5-8cm、横約5-6cm程度であり、ペースメーカーと比較してやや大きめです。当院では低左心機能の方に行う両心室ペーシングと合わせて年間10件程度の手術を行っています。

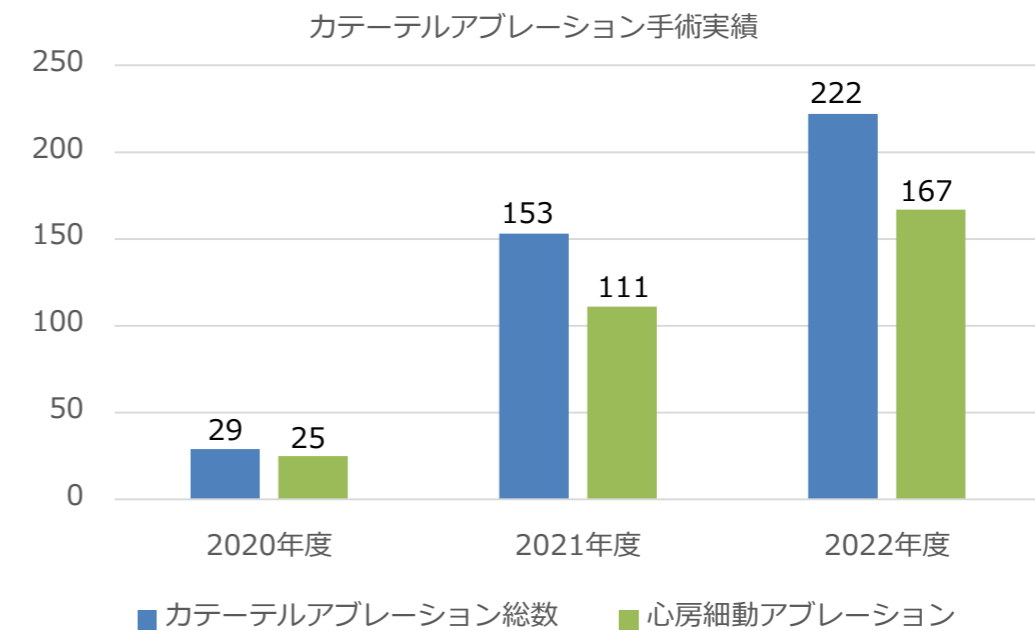
不整脈の検出

失神時に頭部に外傷を負う、または、原因不明の脳梗塞で心房細動に伴うものが疑われている方など、症状出現時に心電図が確認できておらず、ペースメーカーやカテーテルアブレーション、お薬による治療の適応となるかどうか判断ができない患者さんへは左胸に埋込み型心臓モニター(ICM)の埋め込みもお勧めしています。大きさは機種によって異なりますが、縦49mm×横9.4mm×厚さ3.1mm程度と非常にコンパクトになっており、左胸に埋め込んでもほとんど目立ちません。



カテーテルアブレーション治療

頻脈発作が出現し持続してしまう患者さんが適応になります。その原因は様々ですが、頻脈による動悸は、持続すると心不全の原因になったり、心房細動が原因の場合には脳梗塞を起こしたりします。そのため、お薬で脈を正常化させたり、脳梗塞予防の治療が必要になったりします。また、頻脈性不整脈に対しては、お薬による治療だけでなく、カテーテルアブレーションが有効である可能性があります。カテーテルアブレーションによる治療は日本の高齢化により、心房細動がその内の8割を超えと言われています。心房細動の患者さんは、2030年には100万人を超えると推定されています。当院では、心房細動に対する治療を中心に、その他の頻脈性不整脈に対しても積極的に治療を行っています。また、心房細動に対するアブレーション後、術後3ヶ月、1年後、2年後、3年後と24時間心電図を施行し、再発の有無を確認しています。



レーザーバルーン

当院の心房細動アブレーション治療の特徴として、従来のカテーテル治療だけでなく、レーザーバルーンという本邦で新しく認可されたシステムによる治療も積極的に行っています。レーザーバルーンは、内視鏡を用いることにより肺静脈の中を見ることが出来るため、治療部位を直接見ながら決めることが出来ます。当院では2022年5月より導入しており、2022年度(2022年5月~2023年3月まで)は45件の治療を行っています。また、当院吉澤医師が前任地で行った24件の患者さんの術後1年の成績では、90%を超える洞調律維持の成績が得られています。

ExTRa Mapping

通常の治療で治療困難である難治性心房細動の患者さんへは、ExTRa Mappingという特殊なシステムを用いた治療を行うことにより心房細動を停止させ、脳梗塞予防、心不全への進行を抑制させるよう努めています。当院ではExTRa Mappingを再発患者さんに使用しており、現在、年間5-10件程度の使用実績となっています。当院のアブレーション治療は最新の装置、設備も用いながら、患者さんに合わせた治療を行っています。不整脈でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、当院循環器内科へご紹介ください。

公式ホームページ



相模原協同病院 TEL:042-761-6020(代)へご連絡ください。